

# 早稲田のいぶき



## 榎地区まちづくり講座 「みんなでパワーアップ!えのき」



榎町地区町会連合会  
との共催企画

特集号  
防災編

今回のワークショップは、東日本大震災を受けて「防災」をテーマに企画しました。榎町地区町会連合会の共催により、各町会の防災部長を中心に21名の方に参加いただき開催しました。前半は、前新宿区危機管理課長の藤林講師による「榎地区の直下型地震に備えて」と題し、防災・災害に関するデータや区民モニターアンケート分析結果を基に講義を行いました。

後半は、「災害時に町会防災部が果たすべき役割」をワークショップの主テーマとして、4〜6人の班に分かれて、活発な意見交換により課題を整理し、最後に班毎に発表が行われました。講師の講評も含め2時間という時間でしたが、充実した討議の場となりました。

ワークショップにより、町会毎に防災部が多くの課題を持っていくこと。所属の町会だけでなく他の町会の課題にも共通点があり課題が整理できたこと。解決策などの情報交換を行うなど、防災部長の交流もできたことは、地域にとって有意義であったことと思います。

今後、地域課題の解決に向けて、さまざまなテーマでワークショップを開催し、榎地区の地域活性につなげていきたいと思えます。

# 1 事前の対策

…体制の確立と確認が急務

町会（防災部）として事前  
やっておくべき事柄が多岐に  
わたり、非常に多い！

- 情報の把握と管理  
（住民の家や健康状態等の個人情報、まちの建築物や道路の危険度等）
- 個人情報開示の困難
- 対策案の作成、確認、周知
- 準備（危険箇所表示地図、ハザードマップ等があるとい）
- 訓練（防災訓練は無駄ではない。参加者を集める努力が要る）
- 人員確保、役割分担



# 2 各戸の備え

…意識の向上と徹底が不可欠

- 最低限の水と食料の自宅備蓄を促し、徹底を
- 家具転倒防止対策を講じる意識を持たせる。（家具転倒がなければ、避難所に行かず自宅避難が可能な場合も）



# 3 被災者の異なる立場

…混乱時には見知らぬ人々も

- 町会員だけではないさまざまな被災者とうとう向き合うのか？
- マンションの住民
- 帰宅困難者
- 個人情報をおかさないが助けを要する人



# 4 いかにか効果的に行動するか

…防災部の組織力（体制）が問われる

- 指示系統、役割分担等、組織的行動の基本が確立できていない！
- 防災資機材の備蓄をフルに活用
- 防災部員やリーダー不在の場合の対策案も必要
- 正しい情報の迅速な入手と伝達・発信（混乱の回避）  
⇒ 具体的には？
- 行動の優先順位と役割分担を決めておく
- 「判断」の基準を決めておく
- 基本的なルールを厳守しつつ、臨機応変に行動できる果敢も必要



通信

募集！

ふれあいサポーター

地域ふれあい分科会では、ご協力していただけるサポーターの方（個人・団体）を募集しています。詳しくは事務局までお問い合わせください。

事務局より

1、2面特集しました「コミュニティ講座」、参加者の熱意が伝わりましたでしょうか。昨年の東日本大震災をはじめとする各地の災害を機に、区では地域防災計画の見直しを行っています。

個々人と近隣、行政と互いに連携し、地域の防災力向上のために、皆様のご協力をお願いいたします。



## 「ガーデニング講座」

第2回ガーデニング講座を、12月2日(金)榎町地域センターにて開催いたしました。主催は環境美化分科会、共催として地域活性分科会・みどりのクラブで担当しました。講師は第1回と同じ日本ハンギングバスケット協会東京支部長の渡辺さくら先生。アシスタント2名と共に、29名の参加者をご指導くださいました。初めに渡辺さくら先生よりイギリス、カナダにおけるガーデニング事情についてお話がありました。

次いで実技。今回はクリスマスやお正月向けのバスケットで、花の種類は葉ボタン、スマイル、シクラメン、シロタエキク、スイートアリッサム



渡辺先生のお話



等の草花でした。先生が白板に向かい、植え付け手順の説明から始まりました。初めての参加者はバスケットに吸水用スポンジを貼る作業にちよっと手間取りましたが、丁寧なご指導により、皆上手くこなすことが出来ました。今回の参加者はリピーターが約半数を占めたせい、全般に手際が良く、楽しみながら作業していました。また仕上げりも見事で、完成した作品を参加者同士がお互いに評価し、なごやかなガーデニング講座でした。

次回も予定していますので皆様のご参加をお願いします。

## 「しんちゃんホイッスル」の贈呈

安全安心分科会は、地域のおじさん、おばさんとして、子どもたちが毎日安全で安心して暮らせる事を願い、終わりのない活動に取り組んでいます。そんな活動の一環として、本年11月4日、管内小学校(江戸川・鶴



▲ 鶴巻小学校での贈呈式の様子



▲ 早稲田小学校での贈呈式の様子

▼ 江戸川小学校での贈呈式の様子



巻・早稲田)の全児童に「しんちゃんホイッスル」を贈呈致しました。

防犯ブザーが普及している昨今、なぜホイッスルを配ったのかというと、電池や誤作動の心配無く使用することが出来るということと、身に危険が迫った時にはブザーを鳴らして遠くへ投げると同時に、ホイッスルを吹いて周りの大人たちへ助けを求めるなどといった、併用することでより一層防犯効果を高めることが出来ると考えたからです。

もちろんこのような物を使用しなくてよい環境を創る事が、われわれ大人の責務ではないでしょうか。

# 地域ふれあい分科会

世代間交流を目的に毎月第一日曜日午後一時から早大通りにて「ふれあいデー」を、榎町地域センターにて年四回「ふれあいクッキング」を実施しています。

## ●ふれあいデー

### 実施報告

平成23年7月から12月までに実施した代表種目は次のとおりです。

7月3日(日)

## 七夕飾りを作る。

短冊にそれぞれの願い事を書いて飾り付けました。

自分で作った小さな七夕飾りは家に持ち帰りました。



8月7日(日)

## しぼり染めを作る。

ハンカチ大の白いさらしに輪ゴムを縛り付け、藍の液に一定時間浸し水洗いした後、乾かして完成です。素晴らしい藍染めのハンカチが出来上がりました。乾くのを待つ間、子どもたちは夏の日差しの下で、水鉄砲を楽しんでいました。

9月4日(日)

## ハンドベルの鑑賞と体験。

まずは鑑賞です。早稲田ノエルズの皆さんによる、幾つものハンドベルを操って奏でるメロディーの美しさに、参加者は皆感動していました。鑑賞の後にはノエルズのメンバーにご指導いただき、ハンドベルの体験演奏を楽しみました。

最後にはアンコールにやえて何曲も演奏していただきありがとうございました。

10月2日(日)

## 木工クラフトを作る。

子どもたちの豊かな想像力で自動車や鳥などの傑作が出来ました。

11月6日(日)

## 糸電話作りと輪投げ大会。

輪投げ大会は、高齢者の皆さんが日頃の練習の成果を発揮して素晴らしい成績を収めました。

12月4日(日)

## ミニクリスマスツリーを作る。

三角帽子にたくさんの飾りを付け、素敵なツリー帽が出来ました。

## ●ふれあいクッキング

### 実施報告

7月24日(日)

## 親子ふれあいクッキング「まつりずし」を作る。

「四つ目花ずし」「四季の花ずし」「五彩ずし(押しずし)」の三品を、先生のご指導をいただきながら親子で協力して楽しく作りました。参加者13名。

11月19日(土)

## ふれあいクッキング

### 「お正月料理」を作る。

次の世代に伝えたいお節料理を先生のご指導をいただきながら作りました。参加者21名



●榎地区協議会は住民の皆様の意見を集約し、また行政の方針を検討し、地域の考えを区政に反映していく窓口として、がんばっていきます。

お問合せ・ご応募は 榎地区協議会事務局(榎町特別出張所内)まで

Tel 03-3202-2461 Fax 03-3202-2476

〒162-0042 新宿区早稲田町85番地 榎町特別出張所内 榎地区協議会事務局

<http://www.city.shinjuku.tokyo.jp/division/261500enoki/index.html>

お待ちしております

公募委員

おります